

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	表現研究 I		（ TCM105 ）
講義名（コード）	TCM_表現研究 I _B		（ TCM105B ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	槌谷 智子	時間数	30
成績評価教員	槌谷 智子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N1レベルの読解を学び、社説や専門的な論文などを読み解く力を身につける。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	クラスのレベルや状況に応じて進度は変更になることがあります。 基本的に問題は授業内に解くので指示がない限り事前に解く必要はありません。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	この授業の目的・ゴールを確認する。	オリエンテーション 必修パターン：指示語
2	書いてある事項を客観的に読む力をつける。	必修パターン：事実関係 どんなとき文法練習帳
3	言葉の意味に注目して読み解くことができる。	必修パターン：言葉の意味 どんなとき文法練習帳
4	話の展開を追うことができる。	必修パターン：話の展開 どんなとき文法練習帳
5	人物の気持ちを読みとることができる。	必修パターン：人物の気持ち どんなとき文法練習帳
6	理由や根拠を把握しながら読む力をつける。	必修パターン：理由や根拠 どんなとき文法練習帳
7	全体の内容を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：全体の内容 どんなとき文法練習帳
8	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙）
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙）
10	筆者の言いたいことを素早く把握する力をつける。	必修パターン：筆者が言いたいこと どんなとき文法練習帳
11	縦書きなどの手紙にも慣れ親しむことができる。	必修パターン：連絡文 どんなとき文法練習帳
12	必要な情報を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：情報検索 どんなとき文法練習帳
13	総合力を身につける。	前期のまとめ
14		前期期末試験
15		前期期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本語能力試験 N1読解 必修パターン 読解 どんなときどう使う文法練習帳
参考文献・資料等	適宜、追加問題プリントを行います。
備考	